

|||繊維と工業||| Reviews and News

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

特集〈信州大学国際ファイバー工学研究所〉

||| 報 文||| Original Articles



# Frontier Fiber Technology and Science Course Graduate School of Engineering, University of Fukui, Japan

#### Education

Objectives for education

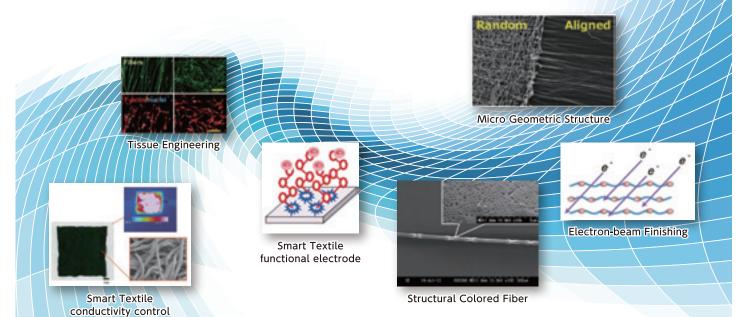
- ·Discipline of Basic and professional knowledge of fiber science and textile industry with "Fiber Mind"
- ·Cultivation of ability to discover and solve problems
- •Nurture of international communication skill in specialized field

#### Research

Promotion of research based on fiber and textile

Key words: Functional and high performance fiber and textile materials for

"Environmental Conservation", "Medical and Health", and "Safe and Reliable Society"



#### Master's Course

Frontier Fiber Technology and Science

- ·Fibrous Materials Science
- ·Fiber Science & Finishing
- ·Fiber·Polymer Processing
- ·Biomimetic Engineering
- •Textile Engineering

Fiber Industrial Engineering (Society Cooperation Lectureship)

Collaborate with General Incorporated Association FUKUI TEXTILE ASSOCIATION

#### **Doctoral Course**

Advanced Interdisciplinary Science and Technology Frontier Fiber Technology and Science

#### **Research Center for Fiber and Textile**

Collaborate with industry through Research Center for Fiber and Textile, Graduate school of Engineering



Contact address

3-9-1 Bunkyo, Fukui-910-8507 Japan
Tel:+81-776-27-9899 (direct call)
E-mail:fiber@mt.u-fukui.ac.jp
Web site:http://kou25hp.eng.u-fukui.ac.jp/fiber/

Surface Chemistry and Physics



ものづくり ひとづくり 未来づくり

〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町 URL: http://www.nitech.ac.jp

平成28年4月、名古屋工業大学は学科・専攻の再編成を行います(設置申請中)

生命・応用化学科/専攻ソフトマテリアル分野

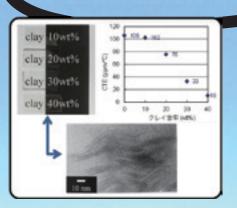




自己組織化

Polymer & Soft material

環境適合性 高分子 機能性 高分子材料







ストレッチ素材におけるすべての答えがここにあります。

"The Stretch Answer"



しなやかな伸びと回復性に優れたスパンデックス (ポリウレタン繊維) < ロイカ>は、 旭化成せんいのもつポリマーサイエンスをベースに生まれたストレッチ繊維です。 確かな技術と高品質に支えられ、"顧客ニーズに的確に対応できる機能性に優れた ひとクラス上のスパンデックス"で、多種多様な用途やニーズにお応えして参ります。



Fine answers now 旭化成せんい株式会社

大阪 06-7636-3547 www.ak-roica.com

# 日本を代表する羊毛技術者執筆陣23名か 羊毛科学の基礎~応用を世界初 集大成!!

# 羊毛の構造と物性

集:日本羊毛産業協会

●発行:株式会社繊維社企画出版

https://www.sen-i.co.jp

220ページ 上製本 ●B5判

● 販 価:5,800円

(本体 5.000 円+税 400 円+送料 400 円)

# 多目的にご活用下さい。

- ▶ 天然繊維・合成繊維開発に
- ▶ 染色加工、商品企画開発に
- 縫製、ファッション、流通に
- 公設試験・各種検査機関に
- ▶ 大学・研究者、化粧品業界に

## 羊毛の構造と物性

日本羊毛産業協会 編集

繊維 社企画出版

#### 編

#### 第1章 羊毛と獣毛

人間と羊毛の歴史 羊の仲間たち 元・IWS業務統括部長 輝雄 大内

繊維の鑑別 ウールグリース 日本羊毛産業協会 専務理事 (元・日本毛織(株) 東京支社長

#### 【獣毛とその電顕写真】

#### 第2章 羊毛繊維の構造

形態と構造 キューティクル コルテックス

2.3

CMC

微細構造 元·独立行政法人 元・独立行以本へ 農林水産消費安全技術センタ-坂部

#### 第3章 羊毛の七不思議

3.3

水をはじくが水を吸う よく染まるが、汚れにくい 細胞は死んでいるが、呼吸をする 水を吸うのに、保温性は優れている 燃えにくい 紡ぎやすさとフェルト性 形状記憶性により弾力性に富む 羊毛加工技円車数が代表 羊毛加工技研事務所代表 (元·IWS/WNZ開発部長)

梅原 亭

#### 第4章 消費性能(物性評価と利用)

繊度,繊維長 チクチク感

強力性

柴田

4.4

ザルH 元・IWS 柴! ピリングとネップ 摩耗とテカリ 形態安定性と収縮 元・千葉大学 教育学部 教授

三ツ井 紀子

セット ハイグラルエクスパン (HE) 日本羊毛産業協会 専務理事 (元・日本毛織(株) 東京支社長)

長澤 則夫 フェルト性、防縮性

元•日本女子大学 家政学部 教授 恒蔵 島﨑 日本羊毛産業協会 専務理事 (元・日本毛織(株) 東京支社長)

消臭機能

金属吸着 羊毛加工技研事務所 代表 (元·IWS/WNZ開発部長)

梅原 亮 ニッケ(日本毛織(株))研究開発センタ 馬場 武--郎

#### 第5章 物性理論

羊毛繊維の力学的性質 テック(株) 技術顧問 (元・金沢大学教授)

松平 光男

長澤

則夫

羊毛繊維の化学的性質

KRA羊毛研究所 所長 (元·群馬大学 教授)新井

則夫

兵庫教育大学 教授, 副学長 福田

消費性能 和洋女子大学 家政学群 直子

服飾造形学類 助教 長嶋 元·東京家政大学 家政学部長 (大阪府立大学名誉教授)

徻 8的性質 椙山女学園大学 生活科学部 教授 上甲 恭

**恭平** 光に対する性質 昭和女子大学 副学長, 教授 小原

奈津子

光完

昌幸

#### 第6章 機器分析

顕微鏡を用いた羊毛繊維の観察 関機鏡を用いた しゅう 滋賀県東北部工業技術センタ 全様 (本) 全様 (本)

降司

線回折 花王㈱ ヘアケア研究所 上席主任研究員 伊藤 R. ラマン分光法 (㈱サニープレイス 研究開発課 主席研究員 葛原 国 京差走査熱量分析DSC 6.3 亜起夫

椙山女学園大学 生活科学部 教授 上甲 恭平

6.5 地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所 充

TOF-SIMS 花王(株) 解析科学研究所 上席主任研究員 田本

#### 第二部 用 応

第1章 ケラチンの分子構造

| 第2章 | 羊毛の形態構造

第3章 コルテックスの構造

第4章 細胞膜複合体の構造

第5章 ジスルフィド架橋の構造

│ 第6章 │ 水の収着位置とその役割

(第1章~第6章) KRA羊毛研究所 所長 (元•群馬大学教授)新井

第7章 羊毛繊維 秩序ある不均 -細胞組織集合体

椙山女学園大学 生活科学部 教授 上甲 恭平

#### 第8章 羊毛製品の快適性

文化学園大学名誉教授,同大学院特任教授

田村 照子

#### 第9章 風合いの科学

神戸大学大字院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

# 英語版ホームページ

● お申し込みは — 電話/ HP / E-mail で

**T541-0056** 

大阪市中央区久太郎町 1-9 — 29 (東本町ビル 5F) Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899 E-mail: info@sen-i.co.jp https://www.sen-i.co.jp

# 繊 維 学 会 誌

平成 27 年 7 月 第 71 巻 第 7 号 通巻 第 832 号

### 目 次

## 繊維と工業(Reviews and News)

【時 【##	【時 評】ファイバー・テキスタイル研究と教育のグローバル化 高寺 政行 … P-329 【特 集】〈信州大学先鋭領域融合研究群 国際ファイバー工学研究所〉				P-329
【符	果】				
		国際ファイバー工学研究所の概要			
		フロンティアファイバー研究部門 後藤 康夫・金 翼水・大越	豊	•••	P-331
		バイオ・メディカルファイバー研究部門			
			敦	•••	P-335
		スマートテキスタイル研究部門			
		… 鈴木 大介・鮑 カ民・高寺 政行・倪 慶清・橋本 稔・石澤	広明	•••	P-339
		感性・ファッション工学研究部門			
			政行	•••	P-343
【解	説】	化繊業界の標準化推進活動について 杉原	克	•••	P-347
【連	載】	〈業界マイスターに学ぶせんいの基礎講座 – 10〉			
		第4編編物の基礎知識 田中 幸夫・橋詰	久	•••	P-349
【繊維学	会倉	<b>  立70周年記念連載</b> ] 〈技術が支えた日本の繊維産業 - 生産・販売・商品開発の歩み	$\star -22 \rangle$		
		染色加工業の盛衰(1)	義弘	•••	P-359
【海外二	ュー	-スレター】		•••	P-369
【議事	録】	一般社団法人 繊維学会平成 27 年度通常総会報告		•••	P-371
		一般社団法人 繊維学会第 661 回理事会議事録(抜粋)		•••	P-388
		一般社団法人 繊維学会平成 27 年度通常総会議事録(抜粋)		•••	P-388
報		文(Original Articles)			
【一般報	文】	筋負荷、自律神経および感性への影響からみた腰部保護機能を有するガードル設	計		
			島 陽	子	··· 217
		A Novel Random Preferential Orientation of the Crystal A-axis Along the Radial			
		Direction Confirmed on the Poly-p-phenylenebenzobisoxazole (PBO) Fiber Made	e with	a	
		Water Vapor Coagulation Method	金 翼水・大越 豊 … P-331 E田 靖・西川 敦 … P-335 橋本 稔・石澤 広明 … P-339 金 炅屋・高寺 政行 … P-343 一 杉原 克 … P-347 田中 幸夫・橋詰 久 … P-349 売・商品開発の歩み - 22〉 … 松下 義弘 … P-359 … P-369 … P-371 … P-388		
		Tooru Kitagawa, Kohei Kiriyama, and Yusuke	Shimiz	zu	224
<b>(</b> ノ –	١١	Effects of Laser Beam Width on the Diameter and Molecular Weight of Laser-Elec			
_	-	Polylactide Fiber			
		Midori Takasaki, Kengo Morie, Yutaka Ohkoshi, and Toshihi	iro Hir	ai	232

## Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 71, No. 7 (July 2015)

## **Contents**

[Reviews and News]  ⟨Foreword⟩
Globalization of Fiber / Textile Study and Education
⟨Special Issue on Institute for Fiber Engineering, Shinshu University⟩ Outline of Institute for Fiber Engineering, Shinshu University
Division of Frontier Fiber  Yasuo GOTOH, KIM ICK SOO, and Yutaka OHKOSHI ··· P-33
Division of Biological and Medical Fibers  Kousaku OHKAWA, Masahiro MIZUNO, Jun ARAKI,  Yasushi TAMADA, and Atsushi NISHIKAWA ··· P-335
Division of Smart Textiles Daisuke SUZUKI, Limin BAO, Masayuki TAKATERA, Qingqing NI, Minoru HASHIMOTO, and Hiroaki ISHIZAWA P-339
Division of Kansei and Fashion Engineering Shigeru INUI, Kyoungok KIM, and Masayuki TAKATERA ··· P-343
⟨Review⟩ The Standardization Activities in the Japanese Chemical Fiber Industry Katsu SUGIHARA P-347
⟨Series on Fiber Basic Course Lectured by Professional Engineers-10⟩ Basic Knowledge of Knitting
⟨Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology  − History of the Production, Sales, and Product Development−22⟩  Rise and Fall of Textile Dyeing Processing Industries (1)
⟨Foreign News Letter⟩
⟨Minutes⟩ Report of an Ordinary General Meeting (2015) P-37
Summary of 661st Sen'i Gakkai Board of Directors
Summary of an Ordinary General Meeting (2015) P-388
[Original Articles]  〈Transactions〉  Design of Girdles with Waist Support Function Considering Muscle Load, Autonomic Nerves, and Sensations
A Novel Random Preferential Orientation of the Crystal A-axis Along the Radial Direction Confirmed on the Poly-p-phenylenebenzobisoxazole (PBO) Fiber Made with a Water Vapor Coagulation Method  Tooru KITAGAWA, Kohei KIRIYAMA, and Yusuke SHIMIZU ••• 224
Effects of Laser Beam Width on the Diameter and Molecular Weight of Laser-Electrospun Polylactide Fiber

# Sen'i Gakkaishi

(Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan)

Vol.71 No.7 July 2015

#### CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

(Transactions	:]
---------------	----

Design of Girdles with Waist Support Function Considering Muscle Load, Autonomic Nerves,	
and Sensations	na ··· 217
A Novel Random Preferential Orientation of the Crystal A-axis Along the Radial Direction Confid	med
on the Poly- $p$ -phenylenebenzobisoxazole (PBO) Fiber Made with a Water Vapor Coagulation M	lethod [
Tooru Kitagawa, Kohei Kiriyama, and Yusuke Shimi	zu ··· 224

#### [Note]

Effects of Laser Beam Width on the Diameter and Molecular Weight of Laser-Electrospun

Polylactide Fiber ...... Midori Takasaki, Kengo Morie, Yutaka Ohkoshi, and Toshihiro Hirai ... 232

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan) 3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

### 繊維学会誌「報文」活性化と正確な引用文献表記をお願い致します ・繊維学会誌引用の際は"Sen'i Gakkaishi"と表記してください ──

繊維学会誌では論文誌としての価値を高めて、より一層会員の皆様、投稿者の皆様に貢献したいと考えており ます。

これまで以上に積極的な御投稿をお願い申し上げますとともに、本誌を含め各種学術雑誌に研究成果を御発表 されます場合には、繊維学会誌の積極的な引用についても併せてお願い申し上げます。

特に引用を頂く際には、誌名の正確な綴りにもご留意いただきますようお願いいたします。現在の繊維学会誌 「報文」は、"Sen'i Gakkaishi" (nとiの間はアポストロフィでハイフンではありません)の表記をお使いいただ きますようお願いいたします。

#### 投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般 印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中 に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能 な word 等で作成してください。その際本文は A 4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に 設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可 能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームペー ジからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも 繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

#### 「報文」編集委員

Sen' i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 鬤 谷 要(和洋女子大学大学院) 編集副委員長 塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Editor in Chief Kaname Katsuraya Vice-Editor Masatoshi Shioya

豊(群馬大学大学院) 編集委員 河 原 木 村 邦 生(岡山大学大学院) 久保野 敦 史(静岡大学)

Associate Yutaka Kawahara Kunio Kimura Atsushi Kubono Editors 澤 渡 千 枝(静岡大学) 鋤 柄 佐千子原紅芸纖狀学片院 高 寺 政 行(信州大学) Chie Sawatari Sachiko Sukigara Masayuki Takatera

> 武 野 明 義(岐阜大学) 顯 或(釜山大学校) 登 阪 雅 聡(京都大学) Akiyoshi Takeno Hyun Hok Cho Masatoshi Tosaka

菅 井 清 美(新潟県立大学) 山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) 久 田 研 次(福井大学大学院) Hideki Yamane Kenji Hisada Kiyomi Sugai

吉水 広明(結構工業大学大学院) 和 田 昌 久(京都大学大学院) Masahisa Wada Hiroaki Yoshimizu

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2014 & 2015)

T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology) President

Vice-Presidents T. Kanaya (Kyoto University) K. Hamada (Shinshu University) H. Murase (Toyobo Co., Ltd.)

Member-promoting Officer M. Tokita (Tokyo Institute of Technology)

Editor in Chief "Sen'i to Kogyo" A. Tsuchida (Gifu University) Editor in Chief "Sen'i Gakkaishi" K. Katsuraya (Wayo Women's University)

Treasurers H. Oikawa (Tohoku University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

K. Inomata (Nagoya Institute of Technology)

K. Hisada (University of Fukui)

H. Urakawa (Kyoto Institute of Technology)

K. Tanaka (Kyushu University)

Planning Officers T. Iwata (The University of Tokyo)

M. Aoyama (Toray Industries, Inc)

K. Katsuraya (Wayo Women's University)

A. Tsuchida (Gifu University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

The Society of Fiber Science and Technology, Japan



# 会告

2013

Vol. 71, No. 7 (July 2015)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
27. 7. 24金	第21回消費科学講座「データ、市場、売れている商品から読み解く、ヒットに必要なこと」(京都市・キャンパスプラザ京都)	A8
7. 29休 ~31金	平成 27 年度第 45 回繊維学会夏季セミナー「繊維の時空間制御によるサスティナブル社会の実現を目指して」(北九州市・北九州国際会議場)	A3~4
8. 6(木)	第21回消費科学講座「データ、市場、売れている商品から読み解く、ヒットに必要なこと」(東京都・日本女子大学)	A8
8. 8(土)	第23回ファッション造形学(夏期)セミナー「なぜ日本人技術者が海外ファション業界で評価されるのか」(東京都・日本女子大学)	A8
9. 5(土) 12(土)	平成 27 年度 JTCC 産業用繊維講座大阪会場(大阪市・大阪産業創造館 5 階 研修室 E)	A7
9. 11(金) 12(土)	第24回日本睡眠環境学会学術大会(大阪市・綿業会館(大阪)新館)	A7
9. 26(土) 10. 3(土)	平成 27 年度 JTCC 産業用繊維講座名古屋会場(名古屋市・ウインクあいち (愛知県産業労働センター)10 階)	A7
9. 28月	プラスチック成型加工学会第 150 回講演会 身近な現場で考える地球環境問題とプラスチック製造(東京都・東京都立産業技術研究センター本部 東京イノベーションハブ)	A8
10. 7(水) ~ 9(金)	第58回2015年紙パルプ技術協会年次大会「脱皮と進化で環境変化に強い業界へ世界に打ち勝つ技術革新」(新潟市・朱鷺メッセ)	A7
10. 15(木)	第 54 回機能紙研究発表・講演会(高松市・サンポート高松)	A8
10. 20火 21水	第47回洗浄に関するシンポジウム(大阪市・大阪科学技術センター (OSTEC))	A7
10. 22(木) 23(金)	平成 27 年度秋季研究発表会(京都市・京都工芸繊維大学)	A5~6
11. 3(火) ~ 6(木)	第 13 回アジアテキスタイルコンファレンス (ATC-13) (オーストラリア・ ジーロング (Geelong) 、ビクトリア州)	A2
11. 12休 13金	2015 高分子学会東北支部研究発表会(秋田市・秋田大学国際資源学部附属鉱業博物館 3 階講堂)	A7
11. 19休 20金	第 20 回アコースティック・エミッション総合コンファレンス (名古屋市・愛知県産業労働センター(ウインクあいち))	A7
11. 29日) ~12. 2休)	第5回世界工学会議(WECC2015)(京都市・国立京都国際会館)	A2
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成26年1月号
	訂正・変更届用紙	平成26年3月号

## 「繊維と工業」編集委員

編集委員長 土田 亮(岐阜大学)

編集委員 植野 彰文(KBセーレン㈱) 大島 直久(東海染工㈱) 金 翼水(信州大学) 小寺 芳伸(三菱レイヨン㈱)

澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 髙崎 緑(京都工芸繊維大院) 田村 篤男(帝人(株)) 寺本 喜彦(東洋紡(株)) 西田 幸次(京都大学化学研究所) 西村 高明(王子ホールディングス様) 増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大学)

吉田 耕二(ユニチカトレーディング㈱)

顧 問 浦川 宏(京都工芸繊維大院)

#### 平成27年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開催場所
第 45 回夏季セミナー	平成27年7月29日(水)~7月31日(金)	北九州国際会議場(北九州市北小倉区)
平成 27 年度 秋季研究発表会	平成27年10月22日(木)~10月23日(金)	京都工芸繊維大学(京都市左京区)
平成 27 年度 繊維応用講座	平成27年12月 4 日金(予定)	東京(会場未定)

#### 第 13 回アジアテキスタイルコンファレンス(ATC-13)

ATC-13 がオーストラリアにて開催されます。

現在、ATC13のホームページ上で参加者の募集を行っております。

開催日時:2015年11月3日~6日

開催地:ジーロング(Geelong)、ビクトリア州 オーストラリア

是非、参加をご検討いただけますようよろしくお願い申し上げます。

詳細は ATC13 ホームページをご覧ください。(発表申込みは終了しました)

HP: http://atc-13.org/

重要日程: Deadline for Submission of Full Manuscript: 15 August 2015

Notification of Manuscript and Poster Acceptance: 30 August 2015

#### 第5回世界工学会議(WECC2015)

主 催:公益社団法人 日本工学会、日本学術会議、世界工学団体連盟、UNESCO

**日** 時:平成27年11月29日(日)~12月2日(水)

場 所:国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

- \*当会議は、工学・工業の広範な領域における研究開発の現状と将来像を各分野の指導的研究者・技術者を招いて レビューするものであり、各企業・研究所において今後の研究開発を行う上で参考となる諸分野の動向を3日間 にわたって展開いたします。 会議参加予定者数 国内 1,700人、国外 800人
- \*技術展示会は、会議に参加する海外からの参加者の大半が、各国の政策立案・実施に関与または影響力を有する WFEO 委員会の委員であることから、それらの国々の方々との人脈形成に役立つと思います。

技術展示会参加者数 5,000 人

詳細情報は、会議 WEB サイト http://www.congre.co.jp/wecc2015/ja/をご覧ください。

問合せ先:公益社団法人 日本工学会 事務局 中嶌 勉

〒162-0825 東京都新宿区神楽阪 4-2-2

東京理科大学森戸記念館

 $\mathtt{TEL}: 03\text{-}6265\text{-}0672$ 

E-mail: nakajima@jfes.or.jp

#### 複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日 本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている

企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委 託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

(一社)学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接 本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して ください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

#### 平成 27 年度 第 45 回繊維学会夏季セミナー 「繊維の時空間制御によるサステイナブル社会の実現を目指して」

**趣 旨**: 今年度の夏季セミナーは、7年ぶりの西部支部担当で、「繊維の時空間制御によるサステイナブル社会の実現を目指して」と題して、北九州での開催を企画しました。繊維の時空間を制御してサステイナブル社会の実現について熱い議論を行っていただくことを目的としております。1日目は3件の特別講演より、今後の繊維研究および産業のさらなる発展のために幅広い視点からご講演をいただきます。2日目からは、開催テーマの下、新進気鋭の研究者の方々に、天然由来繊維から合成繊維・高分子に至るまでの時空間制御に基づいた材料設計に関するお話をいただきます。また、ポスター発表も行います。1日目夕方の懇親会および2日目のワインパーティーでは、講師の先生、参加者、実行委員が気軽に交流し親睦を深める場を持つ予定であります。最終日は北九州市を中心としたツアーを企画しております。

**日** 時:平成27年7月29日(水)~31日(金)

場 所:北九州国際会議場

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9-30

TEL: 093-541-5931 ホームページ: http://www.convention-a.jp/sponsor/kokusai/

交 通: JR 小倉駅から徒歩7分

**定** 員:250名 プログラム:

	12:00	受 付 開 始
	13:30~13:35	開会
	13:35~14:35	【特別講演 1】「合繊原料(石油化学)からみた繊維マーケット。過去、現在、未来。」
公1日日	15:55~14:55	(サウディ石油化学(株))金森 廣
第1日目 7月29日	14:35~15:35	【特別講演 2】「ゴール無限」
(水)	14:35~15:35	君原 健二
(10)	15:35~15:55	休  憩
	15:55~16:55	【特別講演 3】「バイオミメティクスと分子の組織化ことはじめ」
	10:00~10:00	(九大名誉教授、北九州大名誉教授)國武 豊喜
	17:20~19:20	懇 親 会(リーガロイヤルホテル)

		繊維一般		表面修飾、ナノテク、機能
		A-1) 繊維の時空間制御によるサステイナ	B-1)	膜・水処理技術の現状と課題
	9:00~ 9:45	ブル社会の実現を目指して		
		(東工大院理工) 鞠谷 雄士		(三菱レイヨン(株)) 二宮 康裕
		A-2) 高強度繊維の階層構造と形成過程	B-2)	繊維高分子材料を用いた時空間ナノ
	9:45~10:30			構造配向制御による機能性薄膜の創
		(東洋紡㈱)村瀬 浩貴		成 (東工大院理工)早川 晃鏡
	10:30~10:45	休	憩	
	天然繊維	隹(セルロース、キチン、キトサン)		表面修飾、ナノテク、機能
	10:45~11:30	A-3) カニ殻由来の新素材「キチンナノ	B-3)	高分子ブラシ界面の接着における時
	10.45 -11.50	ファイバー」の実用化に向けた機能		空間構造の制御
		の探索 (鳥取大院工)伊福 伸介		(工学院大工)小林 元康
		A-4) セルロース微粒子化技術、機能付加	B-4)	福島第一原発での吸着繊維(仮)
	11:30~12:15	およびその応用展開		
第2日目		(熊本県産業技術センター)永岡 昭二		(千葉大院工)斎藤 恭一
7月30日	12:15~13:45	昼	食	
(未)		繊維機能		高分子合成
V19	13:45~14:30	A-5) GI型フッ素樹脂光ファイバの歴史	- /	CO <sub>2</sub> を出発原料とするポリヒドロキ
		と今後の展望		シウレタン、ポリペプチドの合成
		(旭硝子㈱) 渡邊 勇仁		(近畿大学)遠藤 剛
		A-6) 中空糸膜型三次元細胞培養モジュー	- /	
	14:30~15:15	ルを用いたヒト肝細胞の長期培養の		した元素ブロック高分子の創出
		実現 (崇城大)松下 琢		(京都工繊大)中 建介
	15:15~15:30	コーヒー	ブレイク	
		服飾、アパレル、感性		高分子加工
		A-7) 生活科学と繊維		耐久性試験時の水、熱の影響とポリ
	15:30~16:15			マー寿命延長の秘策
		(神戸大院人間発達)井上 真理	_	(化学物質評価研究機構)大武 義人
		A-8) 日本一の心地よい下着ブランドを目	- /	熱可塑性エラストマー SIS の大規模
	16:15~17:00	指して		粗視化シミュレーション
		(島崎㈱)嶋﨑 博之		(日本ゼオン(株))本田 隆
	17:30~19:00	ポスターセッション・ワ	インパー	ーティー
				Λ 2

	2 2 2 2 2 /	)	그 그 가 나는 네. 네
	ヘルスケア()	メディカル、インプラント、化粧品など)	高分子構造・物性
	8:30~ 9:15		B-9) 高分子薄膜の結晶化に対するナノ吸
			着層の効果
			(㈱クラレ)浅田 光則
		A-9) ウイルス除去膜	B-10) 高分子材料の構造解析と運動状態解
	9:15~10:00		析
		(旭化成メディカル(株))井出 正一	(群馬大工)山延 健
		A-10) 生体親和性高分子の設計と医療デバ	B-11) 電子顕微鏡による高分子階層構造の
<b>公り日日</b>	10:00~10:45	イスへの応用	解析
第 3 日目 7 月 31 日		(九大先導研)田中 賢	(産総研)堀内 伸
(金)	10:45~11:00	休	憩
(亚)	ヘルスケア()	メディカル、インプラント、化粧品など)	服飾、アパレル、感性
		A-11) 生理活性糖と線維の融合により生体	B-12) ものづくり未来の読み方化粧品トレ
	11:00~11:45	機能材料の開発	ンドからみるファッションの潮流
		(九大院工)三浦 佳子	(エフシージー総合研究所)菅沼 薫
		A-12) 繊維構造物としてみた生体組織とそ	B-13) 沖縄の染め織り素材・布とサスティ
	11:45~12:30	の再生医療への応用	ナブル社会
		(東京医科歯科)岸田 晶夫	(琉球大教育)松本 由香
	12:30~12:35	閉会・ポス	ター賞表彰
	12:35~16:30	エクスカ	ーション

#### 参加費:

:		個人会員	維持・賛助会員	一般
	大学・官公庁	25,000 円	25,000 円	28,000 円
	企 業	35,000 円	35,000 円	38,000 円
	学 生	8,000 円	10,000 円	

**懇親会費**:大学・官公庁・企業 7,000 円 学生 4,000 円

会場 リーガロイヤルホテル

**懇親会参加申込み方法**:参加登録申込み時に懇親会参加の有無について選ぶ箇所があります。

繊維学会 HP の夏季セミナーのページ

http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2015/summer/index.html

事前参加申込期間:平成27年5月29日(金)~平成27年7月17日(金)

\*当日も会場にて参加を承ります。

参加費振込先:参加費は現金書留又は、銀行振込みでお支払いください。

\*振込手数料は振込人にてご負担ください。

現金書留または銀行の控えをもって、本会からの領収書に代えさせていただきます。 現金書留郵送先:〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208 繊維学会事務局 宛

銀行口座: 三菱東京 UFJ 銀行目黒駅前支店普通口座 4287837 一般社団法人繊維学会

エクスカーション: ~北九州周遊コース~

日 時:7月31日金 12:40~16:30

定 員:40 名程度

参加費:3,000円/(参観料、昼食代、貸切バス移動(ガイド付)含む)

\*参加費は、当日現地にてお支払いください。

お申込:参加のお申し込みは7月24日逾までにメールにてsummer2015@fiber.or.jpへお申し込みください。

12:40 国際会議場出発

13:00~14:20 西日本工業倶楽部(昼食・館内見学)

14:40~16:00 いのちの旅博物館(館内見学)(http://www.kmnh.jp/)

16:30 小倉駅新幹線口駐車場 解散

研究発表募集:ポスター発表を募集します。年齢制限はありません。

(開催日に35歳未満の学会員の場合、ポスター賞の対象になります)

発表申込/予稿集原稿のいずれも専用の WEB から発表 1 件ごとに登録/投稿していただきます。

問い合わせ先:〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208 一般社団法人繊維学会 夏季セミナー係

TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260 E-mail: summer2015@fiber.or.jp

HP: http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2015/summer/index.html

#### 実行委員会

実行委員長:田中敬二(九大院工)

副実行委員長:石原 繁(帝人㈱)、森田 徹(旭化成せんい㈱)、

実行委員:秋葉 勇(北九大国際)、市川智子(東レ㈱)、井原栄治(愛媛大院工)、伊原博隆(熊本大院自然)、氏家誠司 (大分大工)、大石祐司(佐賀大理工)、 門川淳一(鹿児島大院理工)、川原貴佳(シャボン玉石けん㈱)、北岡卓也 (九大院農)、香出健司(ユニチカ㈱)、小椎尾 謙(九大先導研)、近藤哲男(九大院農)、櫻井和朗(北九大国際)、佐藤一石(徳島文理大)、春藤淳臣(九大院工)、高原 淳(九大先導研)、高藤 誠(熊本大院自然)、長野真衣 (九大院工)、林 省治(三菱レイヨン㈱)、林 英男(㈱クラレ)、檜垣勇次(九大先導研)、比嘉 充 (山口大院理工)、平井智康(九大先導研)、 松野寿生(九大院工)、横田慎吾(九大院農)、吉永耕二(九工大名誉)、

吉村利夫(福岡女大人間)

事務局:野々村弘人、山本恵美

#### 平成 27 年度繊維学会秋季研究発表会

#### ■ 研究発表会・ポスター発表参加募集および参加要領

主 催:一般社団法人 繊維学会

**日** 時: 平成 27 年 10 月 22 日(木)~23 日(金)

場 所:京都工芸繊維大学

京都市左京区松ヶ崎橋上町1

京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅|下車、徒歩8分

キャンパスへは以下の HP をご覧ください。

受付は東部構内60周年記念館になる予定です。

最寄り駅(松ヶ崎駅)からの詳細地図:

http://www.kit.ac.jp/uni\_index/matsugasaki/

キャンパスマップ:

http://www.kit.ac.jp/uni\_index/campus-map/

研究発表会:一般研究発表およびポスター発表を行います。

#### 研究発表分野

- 1. 繊維・高分子材料の創製
- 2. 天然繊維・生体高分子(紙・パルプ 天然材料・ナノファイバー バイオポリマー 生分解性材料)
- 3. 繊維・高分子材料の物理
- 4. 成形・加工・紡糸(ナノファイバー 繊維・フィルム、複合材料・多孔体 染色・機能加工)
- 5. 繊維・高分子材料の機能(オプティクス・フォトニクス 接着・界面/表面機能)
- 6. ソフトマテリアル(ブレンド・ミクロ相分離 ゲル・エラストマー 液晶 コロイド・ラテックス)
- 7. バイオ・メディカルマテリアル
- 8. テキスタイルサイエンス

#### 研究発表形式

- ・口頭発表:発表15分、質疑応答4分、交代1分。
- ・ポスター発表:ポスターサイズ:90cm×120cm

ポスター発表には若手部門(平成 27 年 10 月 22 日で満 35 歳以下の研究者)を設け、優秀発表者を表彰します。発表申し込みの備考欄に「若手部門」への応募をご記入ください。

なお、ポスターの貼り付け、取り除き、発表時間などは後日お知らせします。

発表プログラム:後日掲載予定

研究発表申込方法:発表申込、予稿集原稿のいずれも専用の WEB から発表1件毎に登録、投稿していただきます。メール、FAX による受付は行いません。

発表申込締め切り: 平成 27 年 8 月 23 日(日)

**予稿集原稿投稿締め切り**: 平成 27 年 9 月 20 日(日)

(注意)締め切り寸前は WEB が混み合いますので、早めの申込および投稿をお勧めします。締め切り期限を過ぎますと 自動的に WEB が閉鎖されてしまい受け付けられなくなりますので、ご注意ください。

**発表方法**:口頭発表には液晶プロジェクターが準備されていますが、パソコンは発表者自身がご持参ください。

予稿原稿の書式:以下に示す予稿原稿投稿システムで "PDF ファイル" の予稿を投稿することで行ってください。PDF ファイル以外は受理できません。予稿は書式に従って準備ください。

#### ■ 参加登録の方法

参加申込:参加者は、繊維学会ホームページの秋季研究発表会参加申込用紙に必要事項をお書きいただき、WEBにて申込みをしてください。なお、参加登録は参加費入金をもって受理されますので、事前登録締切日までに下記の「送金方法」をご覧いただき、ご送金ください。振込手数料等は各自でご負担ください。

(注)繊維学会会員番号(個人会員、学生会員の方)および協賛学協会を必ずご記入ください。未記入の場合に

は非会員扱いとなりますので、ご注意ください。

(1) 現金書留:〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人繊維学会 平成 22 年度繊維学会秋季研究発表会係

(2) 銀行振込:三菱東京 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通口座 4287837

(加入者名)一般社団法人繊維学会

(3) 郵便振替:口座番号 00160-9-756624

(加入者名)一般社団法人繊維学会秋季研究発表会

**懇親会**:10月22日休 18時30分より、からすま京都ホテルにて開催予定です。

からすま京都ホテル: (京都市営地下鉄烏丸線四条駅下車南出口6よりすぐ)

http://karasuma.kyotohotel.co.jp/index.html

#### 参加登録料: [

:		繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
	事前登録	8,000 円	15,000 円	3,000 円	6,000 円
	当日登録	10,000 円	18,000 円	5,000 円	8,000 円

#### 懇親会費:

	繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
事前登録	7,000 円	7,000 円	3,000 円	3,000 円
当日登録	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

- (注) 1. 参加登録料には、学会予稿集1冊が含まれます。
  - 2. 予稿集の事前送付はいたしませんので御了承ください。
  - 3. 懇親会のみに参加される方は、懇親会費のみを御送金ください。
  - 4. 研究発表会、ポスター発表および懇親会への参加は、全員事前登録を原則とします。
  - 5. 事前登録締め切り後は、すべて当日登録となります。
  - 6. 当日登録は会場の受付に直接お越しください。

本研究発表会に関して、ご不明な点がありましたら次のアドレスまでメールでお問い合わせください。(京都工芸繊維大学繊維科学センター: fiber@kit.ac.jp)

なお、学会に関してご不明な点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp) にお問い合わせください。

その他:不測の事態が生じた場合は、WEB上で告知することをご承知おきください。

#### ■ 重要な締切日時

申し込み期限:発表申込締め切り:平成27年8月23日(日) 原稿送付期限:要旨原稿送付締め切り:平成27年9月20日(日) 参加登録期限:事前参加登録申込締め切り:平成27年9月20日(日)

#### ■ 平成27年度繊維学会秋季研究発表会実行委員会

実行委員長:浦川 宏(京工繊大)

副実行委員長:山根秀樹(京工繊大)、田中克史(京工繊大)、川瀨徳三(京工繊大)

実行委員:青木隆史(京工繊大)、老田達生(京工繊大)、小川紘樹(京大化研)、奥林里子(京工繊大)、康 健(京工繊大)、

櫻井伸一(京工繊大)、 佐々木 園(京工繊大)、澤田和也(大阪成蹊短大)、榊原圭太(京大化研)、

高崎 緑(京工繊大)、 中野恵之(兵庫県立工業技術センター)、橋本朋子(奈良女大)、

早水 督(京都市産業技術研究所)、本郷千鶴(神戸大)、増谷一成(京工繊大)、松原孝典(産技短大)、

箕田雅彦(京工繊大)、安川涼子(奈良女大)、安永秀計(京工繊大)、山本真揮(京工繊大)、

山本芙樹(京工繊大)、綿岡 勲(京工繊大)

#### 2015 高分子学会東北支部研究発表会

主 催:高分子学会東北支部

共 催:繊維学会東北・北海道支部、東北ポリマー懇話会、

日本接着学会東北支部

**日** 時:平成27年11月12日(木)、13日(金)

場 所:秋田大学国際資源学部附属鉱業博物館 3階講堂

(秋田市手形字大沢 28-2) **発表形式**:1)若手招待講演、2)口頭発表 **研究発表申込み締切**:8月28日金

問合せ先:秋田大学大学院工学資源学研究科 松本和也

TEL: 018-889-2745

E-mail: kmatsu@gipc.akita-u.ac.jp

広島大学 林 光緒

・綿業会館見学ツアー、懇親会

第二日目

・教育講演「睡眠環境とエビデンス」

㈱エス アンド エー アソシエーツ 松浦倫子

足利工業大学 荒川一成

・公開講座「家族の眠りの工夫とポイント」

東京医科大学 駒田陽子 富山大学 神川康子 労働安全衛生総合研究所 高橋正也

広島国際大学 田中秀樹

問合せ先:第24回日本睡眠環境学学術大会事務局

京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 E-mail: 24jimukyoku@ml.sse-japan.com

#### 平成 27 年度 JTCC 產業用繊維講座

各種繊維とテキスタイルの特性、および今後期待される 先端産業分野への展開とその課題について学びます。幅広 い分野の方々の人材育成などにご利用ください。

主 催:(一社)日本繊維技術士センター

大阪会場 「高性能繊維の現状と今後の方向」講座

日時:平成27年9月5日(土)、9月12日(土)の

2日間

会場:大阪産業創造館 5階 研修室 E

受講料: 23,000 円

(テキストおよび副読本を含む)

名古屋会場 「産業資材用高性能・高機能繊維の基礎と

応用」講座

日時:平成27年9月26日(土)、10月3日(土)の2

日間

会場:ウインクあいち

(愛知県産業労働センター)10階

受講料:23,000 円

(テキストおよび副読本を含む)

講座の詳細はJTCCホームページをご参照ください。

**問合せ先**:〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9

号 輸出繊維会館6階

(一社)日本繊維技術士センター(ITCC)

 $TEL: 06\text{-}6484\text{-}6506 \quad E\text{-mail: jtcc@nifty.com}$ 

### 第24回日本睡眠環境学会学術大会

主 催:日本睡眠環境学会

**日 時**: 平成 27 年 9 月 11 日金、12 日生)

場 所:綿業会館(大阪)新館

プログラム: 第一日目

・健康な眠りの確保における睡眠環境の役割

京都工芸繊維大学 小山恵美

・睡眠改善の非薬物的取り組み

睡眠評価研究機構 白川修一郎

・研究発表、展示企業プレゼンターション

・パネルディスカッション「現代日本の睡眠不足問題 を考える」 滋賀医科大学 角谷 寛

サーカディアン・テクノロジーズ・ジャパン

森岡 功

# 第58回2015年紙パルプ技術協会年次大会

「脱皮と進化で環境変化に強い業界へ…… 世界に打ち勝つ技術革新」

主 催:紙パルプ技術協会

**日 時**: 平成 27 年 10 月 7 日(水)~9 日(金)

場 所:朱鷺メッセ 新潟市中央区万代島 6-1

プログラム:・製紙産業関連企業70社の展示会

・特別講演 $(2 \, \text{件})$ 、製紙関連講演 $(60 \sim 70 \, \text{件})$ 

・アトラクション、懇親会、北越紀州製紙㈱

新潟工場見学会

詳細はホームページ http://www.japantappi.org を参

照ください。

問合せ先:紙パルプ技術協会 東京都中央区銀座 3-9-11

TEL: 03-3248-4841 佐治(saji@japantappi.org) 中越(nakakoshi@japantappi.org)

#### 第47回洗浄に関するシンポジウム

主 催:日本油化学会 洗浄・洗剤部会

**日** 時:平成27年10月20日(火)、21日(水)

場 所:大阪科学技術センター(OSTEC)

大阪市西区靭本町 1-8-4

プログラム:特集「洗濯・洗浄に関する表面改質技術」

一般講演およびオリジネルレポート

懇親会

問合せ先:ライオン(株)機能科学研究所 兵頭 亮

〒132-0035 東京都江戸川区平井 7-2-1

FAX: 03-3616-5376

E-mail: senjou47@iml.chem.kit.ac.jp

#### 第 20 回アコースティック・エミッション 総合コンファレンス

主 催:(一社)日本非破壊検査協会

アコースティック・エミッション部会

**日** 時:平成 27 年 11 月 19 日休)、20 日金

場 所:愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

プログラム:一般講演(35 件程度)

セミナー

(AEの基礎、ものづくりへの応用事例)

詳細 はホームページ http://www.jsndi.jp/sciences/section/index7-3.hmlの WEB システムを参照ください。

問合せ先:〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14

(一社)日本非破壊検査協会 学術課 「第20回 AE 総合コンファレンス」係

TEL: 03-5609-4015

E-mail: nakamura@jsndi.or.jp

#### 第54回機能紙研究発表・講演会

主 催:機能紙研究会

**日 時**: 平成 27 年 10 月 15 日休

場 所:香川県高松市「サンポート高松」

プログラムなどの詳細はホームページ http://www.

e-kami.or.jp/kinoushi/に掲載します。

問合せ先:〒799-0111 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1 特定非営利活動法人 機能紙研究会 事務局

TEL: 0896-58-2055 E-mail: kii@e-kami.or.jp

#### プラスチック成型加工学会 第 150 回講演会 身近な現場で考える地球環境問題と プラスチック製造

主 催:プラスチック成型加工学会

**日 時**: 平成 27 年 9 月 28 日(月)

場 所:東京都立産業技術研究センター本部

東京イノベーションハブ

(東京都江東区青梅 2-4-10)

#### プログラム:

プラスチックに関する LCA 工学院大学 稲葉 敦 射出成形機の変遷と環境負荷低減への取り組み

日本製鋼所 松崎孝治

炭素繊維のリサイクルとその背景、問題点そしてビジネ スの可能性 同志社大学 藤井 透

家電混合プラスチック自己循環リサイクル技術

三菱電機 井関康人

環境負荷低減とコストダウンを同時に実現するマテリア ルフローコスト会計 MFCA 研究所 安城泰雄

問合せ先:(一社)プラスチック成形加工学会 事務局

東京都品川区大崎 5-8-5

グリーンプラザ五反田第 2-205

TEL: 03-5436-3822

#### 第21回消費科学講座 「データ、市場、売れている商品から 読み解く、ヒットに必要なこと」

**日時・会場** 7月24日金 京都:キャンパスプラザ京都

(京都市)

8月6日(木) 東京:日本女子大学(東京都)

製品開発にあたっては、マーケットの市場動向や、消費者が今何を考えているのか、などの状況分析と把握が不可欠です。成功している経営トップは、何を考え経営しているのか、ものづくりに対してどのように考え実践しているのか。

これらは、ボーダレスな社会活動において、分野に限らず、誰もが考えなければならない問題です。

今回は、良品計画の金井正明会長、スノーピークの山井太 社長を迎えて、またとない講座が実現しました。是非、ご 参加ください。

〈内容〉

1. 「なぜ、日本人はモノを買わないのか?」

(株)野村総合研究所 上級コンサルタント 松下東子

2. 「定常期における生活者の価値観と消費観」

(株)博報堂 研究開発局 主席研究員 手塚 豊

- 3. 「スノーピーク「好きなことだけ!」を仕事にする経営」 (株)スノーピーク 代表取締役社長 山井 太
- 4. 「生活が美しくなれば社会は良くなる良品計画」 (株)良品計画 代表取締役会長 金井政明
- 5. パネルディスカッション

(司会)繊研新聞社 藤浦 修一

6. ワンコイン懇親会

希望者のみ、事前申込み、別途500円当日(金井会長、山井社長等講演者を交えて、1時間のワイン&ソフトドリンクと軽食のワンコイン懇親会)

#### 第23回ファッション造形学(夏期)セミナー 「なぜ日本人技術者が海外ファション 業界で評価されるのか」

日時・会場 8月8日出 13:00~16:00 日本女子大学(東京都)

高い意識で良質なものづくりをするパタンナーなどの日本人技術者は、世界トップのパリやミラノのファッション業界でも極めて高く評価され、多くの日本人がハイファッションの現場で活躍しています。今回は、パリコレクションのオートクチュールブランド、プレタボルテブランドのモデリストやアトリエチーフを歴任されてきた澤田匠氏と、ミラノコレクションのデザイナーブランドでモデリストとして活躍され、今後はパリでもモデリスト兼デザイナーとして活動される寺西俊輔氏を講師にお招きし、フランスやイタリアのファッション業界の実態、日本とフランスとイタリアにおけるものづくりに対する意識の相違などについてお話しいただきます。

さまざまな人種が集まる世界のファッション業界の中枢で活躍する日本人が多くいるのはなぜか、日本人の何がどのように評価され人財として重宝されているのか。長年現地でアトリエチーフ、モデリストとして仕事をされているお二人だからこそ語れる、海外ファッション業界の現場の"今"をお聞きして、日本アパレルの技術者育成への示唆をいただきます。

問合せ先: 一般社団法人 日本繊維製品消費科学会事務局 〒530-0035 大阪市北区同心2丁目11-5-201 TEL: 06-6358-1441 FAX: 06-6358-1442 E-mail: shohikagaku@nifty.com

# 日本を代表する羊毛技術者執筆陣23名か 羊毛科学の基礎~応用を世界初 集大成!!

# 羊毛の構造と物性

集:日本羊毛産業協会

●発行:株式会社繊維社企画出版

https://www.sen-i.co.jp

220ページ 上製本 ●B5判

● 販 価:5,800円

(本体 5.000 円+税 400 円+送料 400 円)

# 多目的にご活用下さい。

- ▶ 天然繊維・合成繊維開発に
- ▶ 染色加工、商品企画開発に
- 縫製、ファッション、流通に
- 公設試験・各種検査機関に
- ▶ 大学・研究者、化粧品業界に

## 羊毛の構造と物性

日本羊毛産業協会 編集

繊維 社企画出版

### 編

#### 第1章 羊毛と獣毛

人間と羊毛の歴史 羊の仲間たち 元・IWS業務統括部長 輝雄 大内

繊維の鑑別 ウールグリース 日本羊毛産業協会 専務理事 (元・日本毛織(株) 東京支社長

#### 【獣毛とその電顕写真】

#### 第2章 羊毛繊維の構造

形態と構造 キューティクル コルテックス

2.3

CMC

微細構造 元·独立行政法人 元・独立行以本へ 農林水産消費安全技術センタ-坂部

#### 第3章 羊毛の七不思議

水をはじくが水を吸う よく染まるが、汚れにくい 細胞は死んでいるが、呼吸をする 水を吸うのに、保温性は優れている 燃えにくい 紡ぎやすさとフェルト性 形状記憶性により弾力性に富む 羊毛加工技円車数が代表 3.3

羊毛加工技研事務所代表 (元·IWS/WNZ開発部長)

梅原 亭

#### 第4章 消費性能(物性評価と利用)

繊度,繊維長 チクチク感

強力性 ザルH 元・IWS 柴! ピリングとネップ 摩耗とテカリ 形態安定性と収縮 元・千葉大学 教育学部 教授 柴田

4.4

三ツ井 紀子

セット ハイグラルエクスパン (HE)

日本羊毛産業協会 専務理事 (元・日本毛織(株) 東京支社長) 長澤

則夫 フェルト性、防縮性 元•日本女子大学 家政学部 教授 恒蔵 島﨑

日本羊毛産業協会 専務理事 (元・日本毛織(株) 東京支社長) 長澤 則夫

消臭機能

金属吸着 羊毛加工技研事務所 代表 (元·IWS/WNZ開発部長) 梅原

ニッケ(日本毛織(株))研究開発センタ 馬場 武--郎

#### 第5章 物性理論

羊毛繊維の力学的性質 - テック(株) 技術顧問 (元・金沢大学教授)

松平 光男

亮

羊毛繊維の化学的性質

KRA羊毛研究所 所長 (元·群馬大学 教授)新井

則夫

兵庫教育大学 教授, 副学長 福田

光完 消費性能 和洋女子大学 家政学群 直子

服飾造形学類 助教 長嶋 元·東京家政大学 家政学部長 (大阪府立大学名誉教授)

徻 8的性質 椙山女学園大学 生活科学部 教授 上甲 恭

**恭平** 光に対する性質 昭和女子大学 副学長, 教授 小原

奈津子

#### 第6章 機器分析

顕微鏡を用いた羊毛繊維の観察 関機鏡を用いた しゅう 滋賀県東北部工業技術センタ 全様 (本) 全様 (本)

降司

線回折 花王㈱ ヘアケア研究所 上席主任研究員 伊藤 R. ラマン分光法 (㈱サニープレイス 研究開発課 主席研究員 葛原 国 京差走査熱量分析DSC 6.3 亜起夫

椙山女学園大学 生活科学部 教授 上甲 恭平 6.5

地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所 充

TOF-SIMS 花王(株) 解析科学研究所 上席主任研究員 田本

昌幸

#### 第二部 用 応

第1章 ケラチンの分子構造

| 第2章 | 羊毛の形態構造

第3章 コルテックスの構造

第4章 細胞膜複合体の構造

第5章 ジスルフィド架橋の構造

│ 第6章 │ 水の収着位置とその役割

(第1章~第6章) KRA羊毛研究所 所長 (元•群馬大学教授)新井

第7章 羊毛繊維 秩序ある不均 -細胞組織集合体

椙山女学園大学 生活科学部 教授 上甲 恭平

#### 第8章 羊毛製品の快適性

文化学園大学名誉教授,同大学院特任教授

田村 照子

#### 第9章 風合いの科学

神戸大学大字院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

英語版ホームページ

● お申し込みは — 電話/ HP / E-mail で

**T541-0056** 

大阪市中央区久太郎町 1-9 — 29 (東本町ビル 5F) Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899 E-mail: info@sen-i.co.jp https://www.sen-i.co.jp

## 入会のご案内

皆様のお知り合いで当学会に入会を希望される方はいらっしゃいませんか。

#### ご入会の申し込みについて

1. ホームページから「入会のご案内(申込み用紙)」をダウンロードしてご記入の上、当学会事務局へお送りください。

送り先:〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会 TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260

ホームページ: http://www.fiber.or.jp/ E-mail:office@fiber.or.jp

#### 2. 会員の種類

個人正会員 繊維に関連ある学理とその応用に関して相当の学識または経験を有するもので本会の 趣旨に賛同される方

学 生 会 員 大学(大学院、短期大学含む)、高等専門学校などの学生で、繊維および関連の学科・ 技術に興味をもつ学生とする。

維持会員 繊維に関連ある団体、又は個人で、この法人の目的を賛助し、この法人の維持に協力をするものとする。

賛助会員 繊維に関連ある団体、又は個人で、この法人の目的を賛助するものとする。

#### 3. 会員の特典

ご入会いただきますと次のような特典があります。

- ・繊維学会誌「FIBER」月刊誌(掲載論文のいくつかは英文)を毎号お届けします。 (学生会員には原則として電子媒体にて送付し、希望者のみに冊子配付をしています)
- ・繊維学会の本部主催の行事、年次大会/夏季セミナー/秋季研究発表会/繊維基礎講座/繊維の応用 講座/最新の繊維技術レビュー講演会に割引料金にてご参加いただけます。
- ・維持会員と賛助会員には毎月、海外ニュースレター(海外業界専門誌の記事情報の和文案内)を電子媒体にて送付します。
- ・年1回(通常は6月)総会にご参画いただき、ご要望を学会運営に反映できます。

#### 4. 入会手続き

入会申込書が届き次第、入会月の学会誌、定款、会費納入案内書をご送付申し上げますので会費の 納入をお願いします。

5. 会員の会費は次の通りです。入会金は不要です。会費は非課税扱いとなります。

個人正会員:会費(年額) 9,600 円 学生会員:会費(年額) 3,600 円 維持会員:会費(年額) 210,000 円 賛助会員:会費(年額) 70,000 円